■ 平成25年7月6日　茨城新聞掲載

茨城新聞　2013年(平成25年)7月6日　土曜日

「環境・健康対策学びたい」

結城市にタイの市職員

来年3月まで研修

結城市の姉妹都市、タイ・メーサイ市の女性職員が研修のため、結城市役所に勤務することになり、5日着任した。期間は9カ月。「日本の長寿の秘訣(ひけつ)や環境対策を学びたい」と意欲を語った。

前場文夫市長(右から2人目)に着任あいさつしたタイ・メーサイ市職員(左から2人目)とメーサイ病院職員＝結城市役所

着任したのは、メーサイ市公衆衛生・環境課のジャンホーム・ソンクムさん(38)。5月に来日し、県内の自治体国際化協会で日本語を研修していた。

結城市では、企画政策課に所属して、国際交流のほか、保健衛生、環境政策などを学ぶ。

色鮮やかなタイの民族衣装で着任あいさつに臨んだジャンホームさんは「日本のまちは清潔できれい。ごみ処理技術など環境対策のほか、メーサイの人たちが長生きできるよう日本の健康対策や生活習慣を学びたい」と話し、前場文夫市長に象の置物を贈った。

研修は来年3月31日まで。「休みには北海道にも行ってみたい」と目を輝かせるとともに、「日本のお菓子はおいしく、来日後、体重が2キロ増えた」と笑顔を見せた。

メーサイ病院から、同市の城西病院に1カ月間、視察に訪れた看護師2人も同席。前場市長は「結城の文化に触れ、友好の架け橋になってほしい」と話した。

(松田拓朗)

きょうの紙面

結城市でタイの職員研修 20

結城市の姉妹都市、タイ・メーサイ市の女性職員が研修のため、結城市役所に勤務することになり、5日着任した。期間は来年3月末までの9カ月。「日本の長寿の秘訣(ひけつ)や環境対策を学びたい」と意欲を語った。

Copyright(C)Josai Hospital. All Right Reserved.